

えんど久子市議が要望

小学校の給食は今後も各学校で！

3月議会の一般質問で、猿渡（えんど）久子市議は学校給食の問題で質問しました。

各学校で工夫した給食を実施

えんど久子市議の質問に答えて、スポーツ健康課長は各小学校で給食を作っている単独調理場の取り組みを答弁しました。

別府市の各小学校の調理場には、それぞれ1名の栄養士さんと数名の調理員がいます。小学校の食育は、この

栄養士さん調理員さんが中心にすすめています。

献立は栄養士さんが自分の学校の実情に応じて作り、子どものリクエストを参考にした「お楽しみ給食」や季節の行事にあわせた献立など、それぞれの学校で工夫しています。

アレルギーの子どものために

また、アレルギーのある子どもさんには、一人ひとりに応じた除去食を提供し、どの子も安心して給食を食べることができるように努めていることや、栄養士さん調理員さんが給食時間に各教室を回

り、子どもたちの声を聞いたり、家庭科やクラブ活動、親子料理教室、給食だよりなどを通して、専門家の立場から家庭の食育にも取り組んでいることなどが紹介されました。

コスト論ばかりでなく



黄スミレ

えんど市議は、「このようなきめ細かな食育の取り組みはとても大事であり、将来的にも各学校での単独調理場を続けてもらいたい」と求めました。課長答弁は「いま学校給食は食育の充実が求められており、このことを踏まえ、単独調理場のあり方も含めて、今後慎重に対応していきたい」というものでした。

議会内から、「将来的には給食センターで中学の給食と一緒にできないか」という意見も出ています。しかし、コスト論ばかりで考えるのではなく、大事にすべきところはしっかりと守っていかないとはいえない、と考えています。

みなさんのご意見をお寄せください。

えんど久子HP

<http://www.happyendo.net/>

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

発行責任者 平野文活

別府市石垣西8-2-31

TEL0977-22-6576

No.381

2009. 4. 22.

TEL・FAX 平野文活21-6749・野田紀子22-9253・えんど久子25-7630

<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

えんど久子市議が要望

窓口など市民サービスの充実を

「手続きが大変」という声が

えんど久子市議のところにある高齢の女性から、「夫が亡くなった後の手続きがとても大変だった。一ヶ所で手続きができるようにいなるとありがたいのだが」という声が寄せられました。

えんど市議は、3月議会の一般質問でこの声を紹介し、「窓口の手続きを簡素化し市民サービスができないか」と質問しました。



別府市役所の市民課や保険年金課などの窓口。

椅子に座って手続きができるローカウンター化、受付番号発行機の設置、窓口表示を色別にわかりやすくするカラー化、案内などしてくれるフロアーマネージャーの配置など、H16年度から改善がすすんできました。

混浴温泉世界



別府現代芸術フェスティバル2009「混浴温泉世界」が6月14日まで開催中です。

写真は、4月11日に行なわれたシンポジウム。

改善をさらに検討したいと答弁

市は、これまでも様々な改善が行なわれてきたことを紹介した上で「過去にも死亡届けに関する諸手続きをひとつの窓口に行えないかと検討したが、相談や金銭の授受に關する事務については、担当課でないと対応が困難で実施できなかった。

今後もし引き続き検討していく。職員によるサポートなどソフト面での改善も考えたい」と答えました。

えんど市議は、フロアーマネージャーや案内など職員の対応を評価し、研修を含め、今後の検討・努力を要望しました。